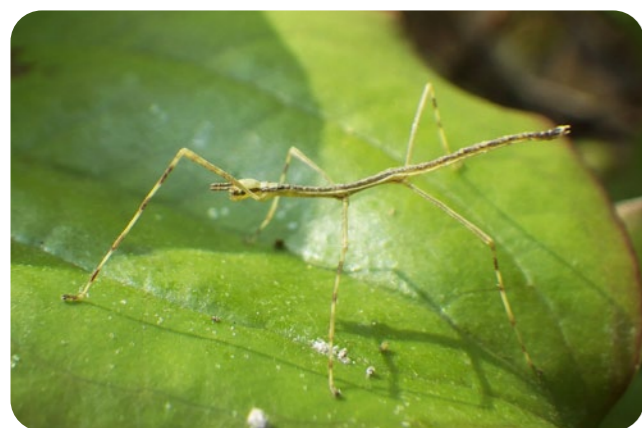


今週の

いきもの広場

① ナナフシモドキ



写真は体長3 mm程の幼虫で、クヌギやサクラなどの若葉を食べて成長します。よく「ナナフシ」とよばれていますが、実際には「ナナフシ」という名前の昆虫はいません。

② ミツボシキリガの幼虫



円内の写真のように、エノキの葉をふたつおりにした巣を作り、中にひそんでいます。エノキの葉を食べ、40mm程まで成長します。

③ オオフタオビドロバチの巣?



ハチ宿の竹筒の穴が泥でふさがれていました。よく見られるドロバチの中でもオオフタオビドロバチは直径11~13mm程のすき間を利用するといわれ、竹筒の大きさから、この種のしわざと考えられます。

④ カブトムシの幼虫



昨年の秋に卵からふ化した幼虫は、土の下に深くもぐり、冬を越します。初夏にはさなぎになり、夏には成虫が見られるようになります。

⑤ キイロテントウ



大きさは5mmもないほどですが、あざやかな黄色い体がめだちます。菌類食のテントウムシでうどんこ病菌を食べるといった変わった食性を持っています。

⑦ アズマヒキガエルのオタマジャクシ



3月おわり頃に卵からふ化しました。5月になると手足が生え、上陸すると思われます。水面に落ちた虫や落ち葉などを食べて、ぐんぐん成長しています。

⑥ ニホンカナヘビ



植物や石の上でひなたぼっこをする姿がよく見られます。よく似ているトカゲと見分けるポイントは、体表がざらざらしている点です。

